

## からだで聴こういい音を

Listen to Good Vibration, Feel Good Vibration & Give Good Vibration for Happy Peaceful Life  
サウンドヒーリング協会(The Society For Sound Healing) 2001年3月設立

### 【3つの提案】

私から始める心の平和 one's peaceful mind creates peace on earth

### 心が平和になる3つの方法 — 3 Ways for Peace Creating

すべてと調和し喜びを創造する Harmonic Alignment

1. 自然音 *Peace Creating Sound* ——— 空間を快適にする音 *Harmonic Ambience*
2. 体感音響 *Peace Creating Machine* ——— 体が喜ぶ細胞レベルのマッサージ *Harmonic Massage*
3. 呼吸と声 *Peace Creating Voice* ——— 高次元の響きに共鳴する声 *Divine Resonance*

### サウンドヒーリング協会

【会 長】中村 泰治（昭和大学名誉教授、理学博士）

【理事長】喜田 圭一郎（株式会社ジョイファンデーション代表取締役）

【理 事】Stan Altman (Ph. D. Baruch College NewYork President)  
上野 圭一（翻訳家、日本ホリスティック医学協会副会長）  
河野 渡（河野デンタルクリニック院長、歯学博士）

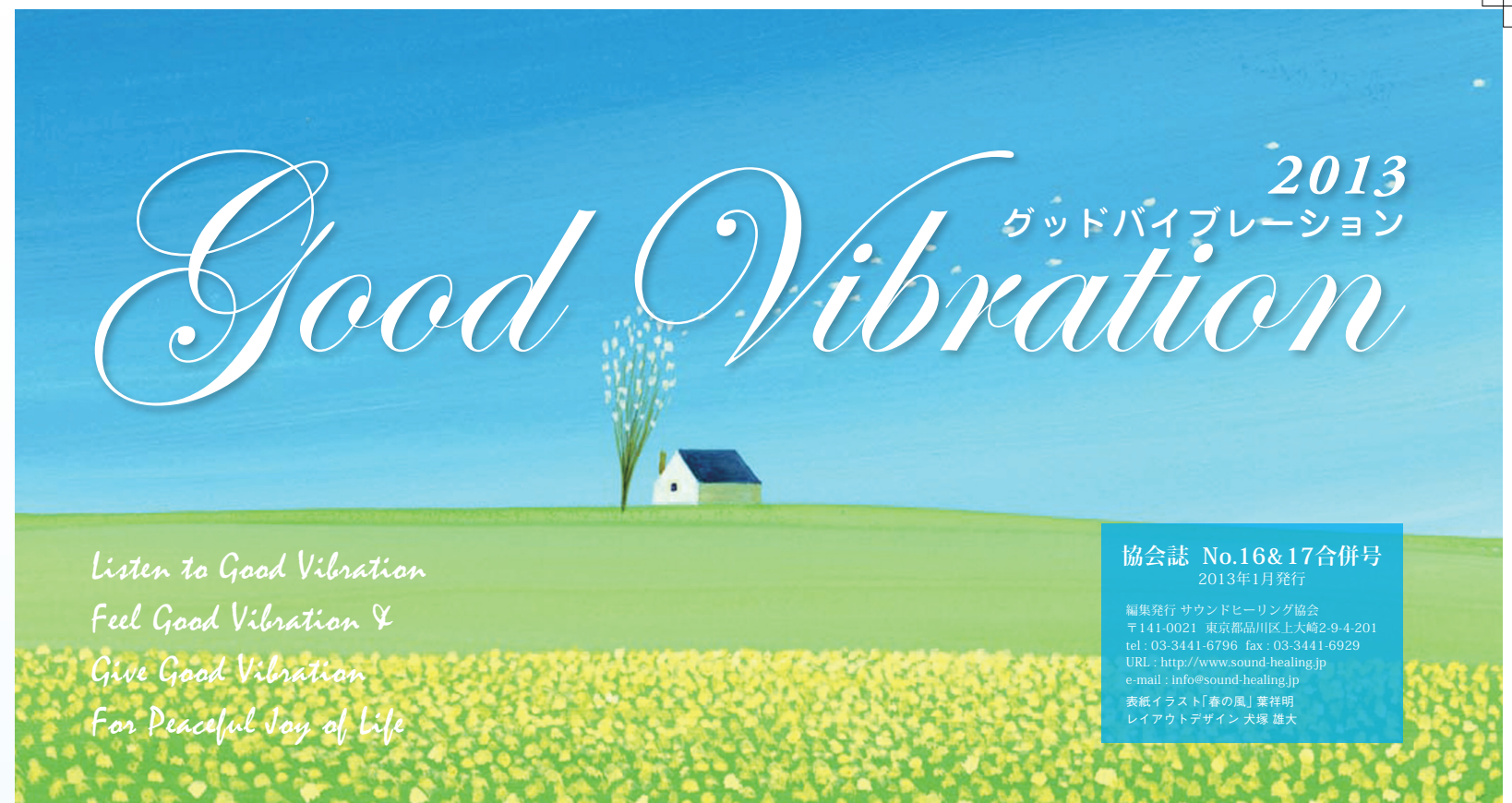
### 【アドバイザーブレイン】（五十音順）

合田周平（電気通信大学名誉教授 工学博士）、有田秀穂（東邦大学医学部統合生理学教授 医学博士）、池川明（池川クリニック産婦人科・内科 医学博士）、岩本耕太郎（内科医、帝国クリニック院長）、雄谷紀子（知的障害施設仏子園園長）、大山孜郎（耳鼻咽喉科、医療法人大山医院、医学博士）、岡見圭（(株)ペットオフィス代表）、奥健夫（工学博士、意識情報研究所）、長田夏哉（田園調布長田整形外科院長）、長内博雄（武蔵野東教育センター所長、前武蔵野東中学校校長）、勝木道夫（勝木グループ代表、医学博士）、神山純一（作曲家、編曲家）、Mitchell Gaynor (M.D. Board Certified in Medical Oncology, Hematology and Internal Medicine)、小松明（体感音響研究所主宰）、作左部 紀子（獣医師）、信田広晶（心療内科 しのだの森ホスピタル理事長）、下雅意巖（元東洋メディアリンクス(株)代表取締役会長）、杉本英夫（桐蔭横浜大学教授、医学博士）、橘秀樹（東京大学名誉教授、工学博士）、高橋全（作曲家、編曲家）、田畑晃（田畑眼科医院院長、工学士）、銅金祐司（東京藝術大学先端表現科非常勤講師）、内藤平（弁護士）、中村鶴城（琵琶奏者）、西條一止（元筑波技術大学学長、医学博士）、Chikako Hoshino Powers (Academy of SMART Therapy Owner)、松下裕子（ストレスケア研究会代表、医学博士）、間山真美子（和なごむ皮ふ科クリニック院長）、森千鶴（鍼灸師、キネシオロジスト、植物療法士）、山口宣夫（元金沢医科大学大学院教授・医学博士）、湯川れい子（作詞家、音楽評論家）

### 【賛同者】（五十音順）

Constantin Ailioaie (MD.PhD ルーマニア在住 小児科医師)、伊藤修（医学博士）、小川圭一（企画音楽プロデューサー）、大塚めぐみ（ウィーン在住ピアニスト）Robert Callery (HB Playwrights Foundation Theater Managing Diredtor)、Hiroyoshi 川岸（音楽家）、素野哲（ジェイ・エム・エス(株)代表取締役会長）、龍村ゆかり（映画ガイアシンフォニープロデューサー）、Amy Tanaka（ハワイ島在住）、Tina H.E.Czech (Clinical Consultant&Educator)、所れい（RHIヒーリングハーブセンター代表）、Francois Du Bois (Composer)、中山一郎（理学博士）、日野原重明（医学博士）、増井光子（獣医学博士）、水野圭一郎（工学博士）、三井石根（医学博士）、本山博（文学博士）、葉祥明（絵本作家）、他

2012.12.01 現在



## 22年前に開発された優れモノ 1991 年頃の事です。当時は、今のような形が小さくて

可動性の振動体はなく、パイオニアからボディソニック  
と言う商品名でリクライニングチェアに振動体が固定されているものだけがありました。東洋医学で言う気の流れ、即ち、流注（るちゅう）を滞りなく行うためには、音を振動に換えて身体全体に伝える事は可動式の振動体が適しています。

喜田圭一郎理事長、宮下富実夫先生などの提案に私が科学的裏付け、気の流れに合った施術法の開発と言う経緯で Healing Vibration は開発されました。喜田理事長は、小型可動性の振動体の開発、宮下先生は、Healing Vibration 用に特に効果が倍増する「音楽」を作曲、私は、Healing Vibration を使った時の生体のバイタルサインの変化を脳波、血圧、指尖容積脈波、マイクロバイブレーションなどでチェックし、その有用性を証明していきました。特に、宮下先生はご自身が被験者となられて何度も何度も熟考して曲づくりをなさいました。今にしてみればとても懐かしい思い出です。その結果、HealingVibration が誕生しました。

基本的に、音は、空気の振動から生まれ、鼓膜を振動させ内耳に伝わるモノ（気導音）と、声帯等の振動が頭蓋骨を伝わり直接聴覚神経に伝わる骨伝導があります。自分の声は、気導音と骨伝導音が混ざったものののです。ベートーベンも耳が悪くても、指揮棒を歯で噛んでピアノに押し当ててこの骨伝導音を聞く事により作曲が出来たようです。Healing Vibration は、ヘッドフォンからの気導音と、振動体を使い全身に響き渡らせる骨伝導音を使い、体全体の自律機能を簡単に高める事が出来ます。さらに、Healing Vibration を使って骨伝導音を伝えると倍音が体中から響きわたります。

倍音とは、一つの音の振動を使って、その音の響きを何処かに共鳴させ、一つの音を何倍にもして豊かにすることです。人が音を聞いた時の脳の反応としては、大脳皮質で理知的に判断するだけでなく、情動を左右する大脳辺縁系で心地よいか不快かを直感的に判断したりします。大脳皮質、大脳辺縁系、視床下部、脳幹部が相互に関連しあって音を認識しています。このため、音の刺激は、生命維持を行っていく上で必要不可欠な要素となるわけです。Healing Vibration は、細胞レベルでも、ひとつひとつの小さな細胞に直接働きかけて細胞を活性化します。

従って、Healing Vibration Therapy を受けると体中が温かくなり、筋肉のこりが取れて、リラックス出来るのです。人間のホメオスタシス機構（生体恒常性）を高め自然治癒力を発揮させるグッズとして私は HealingVibration をこれからも歯科治療、鍼灸治療、自身の健康のために使い続けたいと思います。



Listen to Good Vibration  
Feel Good Vibration &  
Give Good Vibration  
For Peaceful Joy of Life



サウンドヒーリング協会 理事  
河野歯科医院 院長  
河野 渡